

事業所名

ゴットオフラيف豊田校(放課後等デイサービス)

## 支援プログラム(参考様式)

作成日

2025年

2月

1日

法人(事業所)理念		こどもの障がいの有無や国籍、年齢、性別などに関係なく、違いを認め合い、共生していくことを目指す社会の実現を目指します。	
支援方針		集団支援や個別支援を通して、利用者のコミュニケーション力や自己肯定感の向上を目指します。ポルトガル語・スペイン語・日本語など様々な言語を駆使して、ご利用者の能力向上に対してアプローチを行います。言語療法や心理療法・運動に関するプログラムを作成し、一人一人のご利用者にあった支援プログラムの提供を行ってまいります。	
営業時間		9時 0分から 18時 0分まで	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	来所時、送迎時に子供たちの様子を把握し、保護者様と情報共有を行います。子ども自身で体調管理ができ、生活のリズムを一定に保つことができるように支援をします。また自分自身で善悪の区別ができ、行動に自己選択ができるように支援を行います。	
	運動・感覚	様々な音楽を用いた体操や運動を通して、体幹の能力向上させ、バランス力を養います。絵画を描いたり、はさみやのりを使った創作活動を通して、指先のコントロールのやり方を学んでいきます。	
	認知・行動	タイムスケジュールを確認し、時間間隔や時間通りに行動する能力を学んでいきます。自国や日本の季節ごとのイベントに関する活動を通して、興味関心を持っていただき、認知力を養っていきます。集団での活動を通して、自分や他者の気持ちを理解する能力を身につけ、自己肯定力を向上させていきます。	
	言語 コミュニケーション	指導員や他学年の子どもとのゲームや創作活動を通して、集団活動の楽しみを知り、コミュニケーション力を育みます。また自分の気持ちを相手に伝えることの楽しさ、難しさを理解することにより、言葉の表現力を養っていきます。	
	人間関係 社会性	指導員が子どもと子どもの間に入ることにより、ご利用者の通所への信頼感を育み、集団のなかでの感情の不安の払しょくに努めます。ゲームなどの集団活動を通して、手順やルール等の社会性をご理解いただき、毎日を穏やかに過ごせるように支援してまいります。また、挨拶などの集団での礼儀作法を学び、無意識に行動できるように支援を行います。	
家族支援	管理者とスタッフが連携を行い、子供の発達の課題を抽出し、保護者様に情報共有及び助言を実施します。関係機関や社会資源と連携し、支援体制の構築を行います。	移行支援	進学・就職に向けての情報共有や支援をおこないます。小中学校など、ご利用者が通われている学校との連携を図り、支援体制の構築を図ります。
地域支援・地域連携	ご利用者の通学先、相談支援事業所など社会資源と連携を行い、情報共有を行ってまいります。	職員の質の向上	外部研修を積極的に受講し、資質向上に努めます。内部研修や勉強会を通して、支援の質の向上に努めます。
主な行事等	ハロウィン、クリスマス会、外出支援 等		